

第2学年 特別活動 学習構想案

日 時 令和〇年〇月〇日(金)
場 所 〇年〇組教室
指導者 職・氏名 教諭 〇〇〇〇

1 単元構想

題材名	「よりよい学校を築くために、私たちが中心となる令和3年の生徒会にできること」 令和3年度の生徒会スローガンを考えよう		
題材目標	(1) 学校生活の充実と向上のために組織づくりや役割分担を行って協働して実行することの意義を理解し、そのために必要な計画や運営、合意形成の仕方などを身に付ける (2) 自らを含めた全校生徒の学校生活をよりよく充実したものに改善を図るために、アンケート結果等を参考にしながら課題について考え、課題解消に向けて全校生徒が共有できるスローガンについて話し合い、合意形成が図れるようになる。 (3) 集団の形成者として、互いの個性を生かして協力し、積極的に学校生活の充実と向上を図ろうとする態度を養う。		
題材の 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	多様な他者と共同する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることを理解し、行動の仕方を身に付けている。	集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。	自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かし、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。
題材終了時の生徒の姿(単元のゴールの姿・期待される姿)			
誰にとっても生活しやすく自己を伸ばす学校を築くために、一人一人が生徒会の一員であることを自覚して生徒会活動へ主体的に取り組む自治的活動への意欲が高まっている。			
題材を通した学習課題		本題材で働かせる見方・考え方	
生徒会の一員として、よりよい校風を築くために主体的に生徒会活動に取り組むためのスローガンを考える。		よりよい校風や集団生活の実現のために、生徒会の自治的活動への意欲を高めて互いの意見を吟味しながら合意を図る。	
指導計画と評価計画(事前指導及び学級会)			
日時	形態	学習活動	評価の観点等
2月5日 放課後	計画 委員	○第1回計画委員会 目的、これからの流れ、役割について確認	役割分担、スケジュール作成 (知識・技能)
2月9日 放課後	全体	○アンケート実施 「令和3年度、みんなが安心して学校生活を送り、成長できる学校にするために」	アンケート (主体的に学習に取り組む態度)
2月12日 放課後	計画 委員	○第2回計画委員会 アンケート集約、議題設定、小柱設定	活動計画等の立案 (知識・技能)
2月16日 帰学活	全体	○小柱の提示 各人がスローガンを考えてくることを周知	アンケート結果をもとに課題を考え、課題解消のためのスローガンを検討 (思考・判断・表現)
2月17日 放課後	計画 委員	○第3回計画委員会 役割分担、意見の集約、板書計画	意見集約、板書計画の準備 (思考・判断・表現)
2月19日 5校時 (本時)	全体	○話し合い活動 よりよい学校にするために、全校生徒が共有できるスローガンを創ろう	学校をよりよくするための話し合いに主体的に参加し、互いの意見のよさを評価しながら練り上げようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)

2 単元における系統及び生徒の実態

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)																									
○中学校学習指導要領【生徒会活動】内容(1)生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営 生徒が主体的に組織を作り, 役割を分担し, 計画を立て, 学校生活の課題を見出し解決するために話し合い, 合意形成を図り実践すること。																									
教材・題材の価値																									
本題材の議題は「よりよい学校にするために, 全校生徒が共有できるスローガンを創ろう」である。昼休みや放課後等の隙間時間を使って計画委員会を中心に事前準備や意見出し等を行い, 新年度の学校の雰囲気(校風)を自分たちの手でつくっていくという実感を持たせることにより, 主体的に集団生活の向上を図る意欲を高めるとともに達成感や自己有用感を感じさせることができる題材である。																									
本単元における系統(横軸を当該学年での他領域とのつながり, 縦軸を他学年での同領域のつながり)																									
生徒の実態(単元の目標につながる学びの実態)																									
<p>1 授業参加生徒数:○名</p> <p>2 学級の様子 ※QUテスト(令和2年7月実施)より 学級内に大きなトラブルが少なく, ルールや行動規範がほとんどの生徒に共有されている。しかし, 学級内で認められて意欲的に活動できている生徒とそうでない生徒が明確に分かれている「かたさのある集団」と判断され, 生徒の人間関係の形成がやや弱いと考えられる。</p> <p>3 最上級生になるにあたって</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">とても思う</th> <th style="text-align: center;">思う</th> <th style="text-align: center;">あまり思わない</th> <th style="text-align: center;">思わない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・憧れられる最上級生になりたい</td> <td style="text-align: center;">92 %</td> <td style="text-align: center;">8 %</td> <td style="text-align: center;">0 %</td> <td style="text-align: center;">0 %</td> </tr> <tr> <td>・行事を今年以上に成功させたい</td> <td style="text-align: center;">88 %</td> <td style="text-align: center;">12 %</td> <td style="text-align: center;">0 %</td> <td style="text-align: center;">0 %</td> </tr> <tr> <td>・自分の持っている力をもっといろいろな場面で生かしたい</td> <td style="text-align: center;">46 %</td> <td style="text-align: center;">46 %</td> <td style="text-align: center;">8 %</td> <td style="text-align: center;">0 %</td> </tr> <tr> <td>・今年, 生徒会スローガンを意識して生活していたか</td> <td style="text-align: center;">30 %</td> <td style="text-align: center;">54 %</td> <td style="text-align: center;">16 %</td> <td style="text-align: center;">0 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>・よりよい学校にするために解消したい問題、または、何か不足していると思うことは？ 下級生や上級生への挨拶、授業への積極性、相手や場面によって挨拶や集中力に差がある 休み時間と授業のメリハリ</p> <p>4 分析 最上級生になるにあたり、「下級生の手本になりたい」や「学校の中心となって活躍したい」と考えている生徒が多く、そのために自分自身の力を発揮したいという意欲を持っている生徒が多い。一方で、挨拶や積極性を課題と捉えている生徒が多い。また、生徒会活動のスローガンを強く意識している生徒が少ない。生徒自身が望む最上級生像や学校像に近づくための課題を把握させ、学校の風土を生徒自身の手で作ることを自覚させることにより学級での話し合い活動や生徒会活動を充実させられる学級集団と考えられる。</p>		とても思う	思う	あまり思わない	思わない	・憧れられる最上級生になりたい	92 %	8 %	0 %	0 %	・行事を今年以上に成功させたい	88 %	12 %	0 %	0 %	・自分の持っている力をもっといろいろな場面で生かしたい	46 %	46 %	8 %	0 %	・今年, 生徒会スローガンを意識して生活していたか	30 %	54 %	16 %	0 %
	とても思う	思う	あまり思わない	思わない																					
・憧れられる最上級生になりたい	92 %	8 %	0 %	0 %																					
・行事を今年以上に成功させたい	88 %	12 %	0 %	0 %																					
・自分の持っている力をもっといろいろな場面で生かしたい	46 %	46 %	8 %	0 %																					
・今年, 生徒会スローガンを意識して生活していたか	30 %	54 %	16 %	0 %																					

3 指導に当たっての留意点(「校内研修の取組の視点」等からの指導上の留意点等について明記)

- 計画委員を中心に事前準備を進める。事前準備から当日までの流れを把握させて計画を大まかに立案させ、生徒が主体となって運営していると実感させる。
- 学級の生徒全員が意見を出しやすいように、議題について事前に伝え学校の課題を洗い出し、それに応じた自分なりのスローガン(文節や単語等も可)を考えさせておく。
- ファシリテーションの手法を使って意見を交換させることで、一人一人が主体的に学習に取り組めるようにする。

4 本時の学習

(1) 目標 生徒全員が生活しやすく自己を伸ばす学校にするために行う生徒会活動について、それぞれの思いを大切に話合い活動を通して合意形成を図りながら活動スローガンをたてる。

(2) 展開

展開	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意点 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
つかむ	5分	1 開会 2 実行委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の説明 5 決まっていることの確認 6 話合いの進め方	○学級会を開き、話し合う理由を「提案理由の説明」の中で全体に伝達する。 ○事前に集約した学校の課題について板書して周知する。 ○話合いの流れとゴールを確認する
展開	15分	7 話合い①(小グループ)	
		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>【議題】〇〇をより良い学校にするために、全校生徒が共有できるスローガンを創ろう</p> </div>	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【小柱1】各自が考えた「生徒の積極性を高めるために、全校生徒がいつでも、誰に対しても挨拶したくなる」スローガンをもとにグループで案を創ろう</p> </div> <p>◇別室登校や学校に来ていない友達も学校に登校しやすい雰囲気をつくりたい。 ◇校内だけでなく、校外でも元気な挨拶ができるようになろう。 ◇自分の意見を堂々と発表できるようになりたい</p>	○小グループの中で事前に考えてきた自分のスローガンを伝え合い、それらをまとめたり修正したりして【小柱1】に対応したスローガン案を創る。 ○タブレット PC にまとめさせる
	25分	8 話合い②(全体)	○ファシリテーションの手法を使って学級全体の中で意見交換をさせる。 ○他グループの意見を知った後、改めて自グループのスローガンを見直す。 ○各グループがたてたスローガンを生かして学級から提案するスローガンを決める
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【小柱2】小柱1で出されたスローガンを整理し、2年2組から生徒会本部に提案するスローガン案を決めよう</p> </div>	
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【期待される学びの姿】 自グループの意見と他グループの意見の良さを評価し合いながら、互いの良さを生かして折り合いをつけられないか意欲的に話し合う。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【具体の評価規準】 観点</p> <p>○学校をよりよくするための話合いに主体的に参加し、互いの意見の良さを評価しながら練り上げようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)</p> </div>
終末	5分	9 決まったことの確認 10 担任の話 11 終わりの言葉	○学級から提案するスローガンを確認する ○話合いの進め方や合意形成の過程を評価する話をする。